

## 小牧の歴史

時代区分	西 暦	和 暦	主 な 事 項	一般参考事項
旧石器時代	B.C. 10000頃		小牧山遺跡	
縄文時代早期	6000頃 A.D.		織田井戸遺跡・浜井場遺跡	
弥生時代	200頃		このころの遺物として、北外山出土の銅鐸	卑弥呼、魏へ朝貢(239)
古墳時代前期	300頃		宇都宮神社古墳、浄音寺古墳など築造される	
古墳時代後期	600頃		野口・大山付近に横穴式石室を持つ古墳群が築造される	大化の改新(645) 大宝律令(701)
白鳳時代	700頃		大山寺創建 篠岡地区で農業生産が始まる(篠岡古窯跡群)	
平安時代	1152	仁平 2	大山寺焼失(伝承)	保元の乱(1156)
室町時代	1444	文安 元	西尾道永、大草城を築く	平治の乱(1159)
	1563	永禄 6	織田信長、小牧山城を築城し、南側に城下町を整備	本能寺の変(1582)
安土桃山時代	1584	天正 12	小牧・長久手の合戦	
江戸時代	1608	慶長 13	小牧村検地	徳川義直、尾張藩主となる(1607)
	1623	元和 9	上街道(木曾街道)の整備に伴い、小牧山南麓の町場を小牧山東麓の原野に移し、宿駅を開く(小牧宿)	
	1628	寛永 5	入鹿池築造始まる	
	1633	10	入鹿池完成、入鹿用水の開削	
	1648	慶安 元	木津用水(合瀬川)開削始まる	
	1650	3	木津用水完成	
	1664	寛文 4	新木津用水完成	
	1667	7	小牧宿で「小牧市」始まる	
明治時代	1782	天明 2	小牧代官所設置	大政奉還(1867)
	1888	明治 21	郡立高等小学校小牧分校を小牧村に設置	版籍奉還(1869)
	1889	22	市町村制実施、本市域では37か村を14か町村に統合	廃藩置県(1871)
	1906	39	町村合併により本市域は1町3村(小牧町・味岡村・篠岡村・北里村)となる	師範学校・小学校・中学校令公布(1886)
	1908	41	小牧町・味岡村に尋常高等小学校設置	大日本帝国憲法公布(1889)
	1909	42	篠岡村に尋常高等小学校設置	濃尾大地震(1891)
大正時代	1920	大正 9	名古屋電気鉄道小牧線開通	日清戦争(1894)
	1922	11	小牧尋常高等小学校から高等科を分離、小牧高等小学校設置	日露戦争(1904)
昭和時代	1927	昭和 2	小牧山周辺で陸軍特別大演習 小牧山、史跡に指定される	小学校令改正(1907) 第一次世界大戦(1914)
	1930	5	尾張徳川家、小牧山を小牧町に寄付	関東大震災(1922)
	1931	6	名岐鉄道大曾根線(上飯田-犬山)開通	対米英宣戦布告(1941)
	1955	30	小牧町・味岡村・篠岡村が合併し小牧市誕生(人口32,000人)	東南海地震(1944)
	1956	31	小牧市工場誘致条例制定	太平洋戦争終わる(1945)
	1962	37	工場誘致100社突破	日本国憲法公布(1946)
	1963	38	北里村合併	新制中学校発足(1947)
	1964	39	名古屋鉄道小牧線(小牧-岩倉)廃線	伊勢湾台風襲来(1959)
	1965	40	小牧インターチェンジ完成、名神高速道路全線開通	東海道新幹線開通(1964)
	1968	43	小牧市歴史館開館 東名高速道路小牧-岡崎間開通	東京オリンピック開催(1964)
	1972	47	小牧ジャンクション完成、中央高速道路小牧-多治見間開通	万国博覧会大阪で開催(1970)
	1973	48	桃花台ニュータウン用地造成開始	
平成時代	1989	平成 元	名鉄小牧駅地下化	阪神・淡路大震災(1995)
	1998	10	小牧中学校、小牧山東麓より現在地へ移転	東海豪雨(2000)
	2003	15	上飯田連絡線開通	
	2004	16	帯曲輪地区東部(小牧中学校跡地)に史跡公園オープン	
	2005	17	市制50周年	
	2013	25	小牧山城築城450年	東日本大震災(2011)
	2015	27	市制60周年(人口約15万4千人)	

協力者(敬称略):伊藤正美、関戸輝隼、舟橋写真機店(五十音順)

### 参考文献:

「創立90周年記念誌」編集・発行:小牧市立小牧小学校(1964年)  
「小牧市史 資料編1(文化財編)」編集:小牧市史編集委員会、発行:小牧市(1975年)  
「小牧市史 本文編」編集:小牧市史編集委員会、発行:小牧市(1977年)  
「小牧市史 資料編2(近世村絵図編)」編集:小牧市史編集委員会、発行:小牧市(1978年)  
「ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和の小牧」著者:入谷哲夫、発行所:株式会社国書刊行会(1984年)  
「小牧散歩II」編集:小牧市教育委員会・小牧市文化財資料研究会、発行:小牧市教育委員会(2008年)  
「小牧の文化財散歩」編集・発行:小牧市教育委員会 文化振興課(2013年)  
「名鉄120年:近20年のあゆみ」編集:名鉄120年史編集委員会事務局、発行:名古屋鉄道(2014年)  
「名古屋鉄道百年史」編集:名古屋鉄道広報宣伝部、発行:名古屋鉄道(2014年)  
「市制60周年記念要覧」発行:小牧市(2015年)  
「保存版 ふるさと小牧」監修:入谷哲夫、発行所:株式会社郷土出版社(2015年)

## 小牧市制60周年記念事業 平成27年度小牧市歴史館企画展 「小牧なつかしの写真展」

平成27年11月20日

編集 小牧市教育委員会文化振興課文化財係  
〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地  
TEL(0568)76-1189  
小牧市施設活用協会  
〒485-0822 愛知県小牧市大字上末2233番地2  
TEL(0568)79-7715

## 小牧市制60周年記念事業

### 平成27年度小牧市歴史館企画展

# 小牧なつかしの写真展

- 会場:小牧市歴史館2階 展示室
  - 会期:平成27年11月20日(金)~12月16日(水)
- ※会期中は無休



### ごあいさつ

昭和30年(1955年)に、小牧町、味岡村、篠岡村が合併して小牧市が誕生しました。田園風景が広がるのどかな街で、田んぼの真ん中を電車が走り、子どもたちは合瀬川で水浴びをし、商店街はネオンが輝き、賑わっていました。

昭和40年代に入ると、そんなのどかな街が変わっていきます。空には国際線の飛行機が飛び交うようになり、大きな工場が建ち始め、高速道路が市内を走ります。また、区画整理事業が進むことで道路が整備され、そして、公共施設が増えることで、住みやすい街になっていきました。

平成27年(2015年)、小牧市は市制60周年を迎えました。

これを記念して、昭和の頃の小牧の風景を中心とした「小牧なつかしの写真展」を開催します。当時に想いを馳せながら、ご覧いただくと幸いです。

最後に、この写真展にご協力いただいた皆様には衷心より感謝いたします。



# 写真で見つめる 往時の小牧

拡大図



1 小牧山南麓 —明治末期—  
【舟橋写真機店 提供】



2 土手橋 —明治末期—



3 駒つなぎの松 —明治40年頃—  
【舟橋写真機店 提供】



4 小牧小学校新築校舎の工事現場  
—明治42年頃—  
【舟橋写真機店 提供】



5 小牧-岩倉線が開業した  
初代小牧駅ホーム —大正9年—  
【舟橋写真機店 提供】



6 県立小牧中学校  
(現 県立小牧高等学校)  
—大正14年~昭和4年頃—



7 姥ヶ懐古戦場跡付近からの小牧山  
—大正末期—  
【舟橋写真機店 提供】



8 小牧山城大手口 —昭和2年頃—



9 御幸橋の竣工—昭和2年頃—



10 秋葉祭の山車(横町の聖王車)  
—昭和初期—  
【舟橋写真機店 提供】



11 なつかしい映画館 —昭和20年代—



12 篠岡村役場 —昭和20年代—



13 味岡村役場 —昭和20年代—



14 小牧駅 —昭和30年頃—



15 北里村役場 —昭和30年頃—



16 中町から横町にかけての商店街  
—昭和30年代—



17 最終営業日の小牧-岩倉線  
—昭和39年—  
【関戸輝集氏 提供】



18 初代小牧市消防署 —昭和40年—



19 竣工当時の歴史館 —昭和43年—

